

仮定

きみと暮らしたかった

平和な生活ではなかったかもしれない
言い争い

不機嫌

すれちがい

砂まじりの風が家の中に吹き荒れたかもしれない

でも一緒にいたかった
もつと

もつと長く

もつと近く

きみの時間がわたしの時間で
わたしの人生がきみの人生であるように

緑にそよぐ栃の木の陰を

ふたりで歩くように

薄紫のあやめが陽に透けるのを

ふたりで眺めているように

二つは選べない